

# 全国学校ギター合奏コンクール2024 審査講評

A-12番 団体名 横浜市立西谷中学校ギター部＜指揮：大沼真樹＞

課題曲 曲名：動物たちのプレリュード 6. カンガルー・ボクサー／竹内淳

自由曲 曲名：三つの日本の風景より第二、第三楽章/早川正昭

審査員名	課題曲	自由曲
新堀	マナー○アナリーゼ○技術□音色△指揮□ 音がぬけない。音圧不足。右手のタッチから呼吸法を。Gr. とCBの一団の位置から再考必要かも。チェンバロギターとソプラノギターを考えてみて。	マナー△アナリーゼ××技術×音色△指揮×× このスタート音が中央からのスタートはNRMの組み立ての見せる方向が表現できにくい。こんなスピードで弾く曲ではない。(第2楽章)早くなる曲ではなく、じっくりネバって3楽章に入っていく曲。この圧の高らかさが表現できなくカルクなる。大きなミス。 指揮：アウフが全くやっていないミス。これではオドレない。ラスト気力ぬけミス。 念を押して行く曲が走ってしまった。
竹内	低音(特にギタロン)が明快でよかった。 が、冒頭からの全体のリズムの揺れが気になった。 それがアンサンブルの乱れのようなものにつながった。 アクセントなどの読み方はすばらしい。	ノックザボディがここまで「求められている」曲というのもすごい が、ギター合奏としてここまでして聞きたいかは別の話。 和のテイストにはどンドン触れてほしいので、こういうスタイルの アレンジ自体は増えてほしいが。 アンサンブルはよい。
猿谷	もやとした印象に何故なるのか考えましょう。	生徒らは本当にこういう曲を演奏したくてギターを奏しているのでしょうか。
堀	タテを合わせるつもりでみんなで前後運動を合わせている？結果ぐずれているので、音楽的な工夫で解決を図って頂きたい。 音色の工夫がほしい。立体感に乏しい。	冒頭壮大で微かに開放弦が鳴っているのはとても幻想的だが、強拍・periodeの意識をもっと持つと走っていってしまうこともなく、もっと芯からグルーブする。八木節のメロディーが始まってから全パートもっと休符をしっかり守って弾かないと流れが崩れてもったいない。トレモロにもフレーズ感を生み出す工夫を。
柴田		私は創造性のない曲は好きではない。
中島	緩徐部分のチェンバロギターの音が小さい。	打楽器奏法が非常に効果的。 それだけにメロディーの出だしが弱く聞こえる。アクセントなどの工夫ができそう。この曲こそきわめて日本的な打ち下ろしの拍感で良いのではないか？ 指揮がもっと野卑で良い。

## 【お問い合わせ】

全国学校ギター合奏コンクール2024 開催事務局(現代ギター社内)

〒171-0044 東京都豊島区千早1-16-14

Tel.03-3530-5341